

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	止むを得ず、身体拘束を行う場合には、決められた記録の適切な整備が望まれる。	身体拘束を完全に撤廃する。	身体拘束について職員に講話を行い、原則禁止の方向性を共有した。継続して研修を行い、意識の向上に努める。	1ヶ月
2	20	「掘り起しプロジェクト」の様式を活用して、馴染みの人や場所・思いや意向等、把握した情報を時系列で追記して蓄積し、支援に活用してはどうか。	利用者の全人的把握のため、よりわかりやすい情報の整理を行う。	「掘り起しプロジェクト」をより深めたシートを作成した。	1ヶ月
3	26	計画に基づいたサービスの実施状況が把握できる記録の工夫が望まれる。 利用者・家族の意見・意向もカンファレンス記録に記載しておくことが望ましい。	「計画」に終わらせず、「サービス」として実行できるように工夫する	計画とサービスが連動するよう記録の工夫をする ケアカンファレンスを有効に活用する	36ヶ月
4	36	写真の使用については、書面で同意を得ておくことが望ましい。	個人情報保護についての意識を向上する。	速やかに同意をとった。また、研修を行い、個人情報保護についての意識の共有化をはかった。	3ヶ月
5	1	理念をいつでも目につく身近な場所に掲示する等、より共有を図るための工夫が望まれる。	運営推進会議での議事を広く開示、反映し、真に開かれた施設を目指す。	運営推進会議の議事録を職員にも開示し、また、掲示する事で誰でも閲覧できる状態にする	3ヶ月
6	35	夜間想定を含め、火災・災害を想定した実践的な訓練を年2回以上の行うことが望まれる。訓練に参加出来なかった職員へ、報告書等の閲覧により訓練内容の周知を図り、また、備蓄担当者を決め、食料や必要な物品を検討して備蓄することが望まれる。	実際に災害が起こった際に適切に行動できるような体制作りを行う。	利用者も参加する避難訓練を実施 地域住民や隣接する施設とも協力する体制を確保する	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。